

いくぶん



第27号 2022.8

平素は育児文化研究センターの活動につきまして温かいご指導・ご支援を賜りまして心よりお礼申し上げます。

当センターは地域連携機関として地域社会の貢献と連携を目指し、子育て支援に寄与することを目的として取り組んでまいりました。今年度もこれまでの活動を継承しながらも、子育て環境の現状や地域のニーズに沿った事業を進めています。

その事業の一つである地域開放事業「おやこひろば たかたん」は、現在、親子・子ども同士・親同士がふれあえる場、また子育てについて互いに学べる場をめざして運営に努めています。そして今後は、高田短期大学の環境を活かしたひろばとして、さらに特徴を出していきたいと考えています。その第一歩として、昨年度より高田短期大学の裏山の「たかたんフォレストのびのびひろば」において「森のひろば」を開催しています。草木の匂いを嗅ぎ、鳥の声に耳を澄まし、草木に触れることなどを通して感性が豊かになり癒しを感じることができる場です。それらは季節の移り変わりによっても見せる姿が違うことも魅力の一つです。子どもたちも既成のおもちゃではない自然物だからこそ、自分の発想で遊びを発見し作り上げています。ご家族でぜひ「森のひろば」へのご参加もお待ちしています。私共も「おやこひろば たかたん」が地域の皆様にとって有意義な空間となるように努めたいと思っております。

自然の魅力については、当センターと子ども学科において、これからも研究を深めたいと思っております。今年度は岐阜聖徳学園大学の松本信吾氏よりご教授いただいた内容の一部を以下にご紹介いたします。

今後とも当センター並びに子ども学科へのご指導・ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

育児文化研究センター長 青木信子

共催事業 報告

子ども学科・育児文化研究センター共催事業

テーマ「身近な自然を活かした保育実践から～環境・人とつながって育つ～」を開催しました

令和4年5月28日(土)に岐阜聖徳学園大学教育学部松本信吾教授を講師にお迎えし講演会を開催しました。

連携市(津市、鈴鹿市、松阪市、亀山市)の保育関係者、自然保育実践園の方々をお招きし、子ども学科教員、学生など42名の参加がありました。松本先生からは、自然を活かした保育実践を基に話題提供していただき、幼児にとっての自然の意味、自然との関わりの実際やそれを支える保育者の援助について考える機会となりました。後半は大学近隣の森のひろば(たかたんフォレスト)にて、参加者自身が自然への感覚を開くネイチャービンゴなども楽しみました。

参加者からは、「身近な自然の中で豊かな感性を育てるという大切なことを再認識した」「夢中で遊ぶ、遊び込むということを大切にしたい」などの感想がありました。また、学生からは「子どもが自ら自然の中で遊ぶことは大事だと感じた」「子どもの興味を止めてしまわない保育者になりたい」など多くの学びがありました。

新緑の森の中では、素足になり大地の温かさを感じたり、草笛を吹いたり自然の中で新たな発見ができる時間を過ごせました。今後も大学周辺の自然環境を利用し、学びの場として活かしていけるよう取り組みを進めていきたいと考えております。



当日の様子は、こちらより
ご覧いただけます。
(12月末日まで)





あおむしのかお ほくかかく!



わたしたちピアニストよ!



からんころん♪…いい音がするね!



おねえちゃんたち みてみて!



ごろん ごろん ごろん

おやこひろば たかたん 4年度



おねえちゃん お勉強がんばってね



ソフトクリーム
とけないうちにめしあがれ



おねえちゃん、
ほっぺは赤色にしたよ!

コロナ禍での3年目を迎え、検温や手指の消毒、マスクの着用など基本的な感染予防対策を守りながら「おやこひろば」が開催できることに感謝しています。

今年度も、基本月曜日みの開催ですが、「はじめてまして」のおともだちも来てくれています。「コロナ禍で、支援センター等に出かけるのが不安で、ずっと家に居ました。」という声もよく聞かれます。

短大の森で自然を体験する「森のひろば」や、高田短期大学以外の施設で、周辺地域の親子が交流できる場「新町会館のひろば」も、今年度は回数を増やして開催しています。

みんなで育ちあう場に笑顔があふれるように、安心・安全を第一に取り組んでいきます。



ちからを合わせて
よいしょ よいしょ



みんなで一緒にー!
だ・る・ま・さ・ん・か…



あかちゃん ガラガラせうぞ



おかあさん
いっしょにカラーたべようよ

2022年度 高田短期大学
おやこひろば たかたん
「ファミリーリーダー」
休日に親子で参加できるひろばを開催します。
ぜひ、遊びにお越しください。
7月2日(土) 10時～12時
[申込期間・・・6/16～6/30]
10月10日(月/祝) 10時～12時
[申込期間・・・9/28～10/6]
利用料は無料です
対象・・・未就学児とそのご家族
※コロナウイルス感染拡大防止のため、ご参加、ご観覧をお断りします。
申込方法
①お申し込みは「おやこひろば」にて
②お申し込みは「おやこひろば」のホームページにて
③お申し込みは「おやこひろば」の電話にて
④お申し込みは「おやこひろば」のメールにて
⑤お申し込みは「おやこひろば」のチラシにて
※お申し込みの際は、お申し込みの住所、お名前、お電話番号、お申し込みの人数をお知らせください。
※お申し込みの際は、お申し込みの住所、お名前、お電話番号、お申し込みの人数をお知らせください。
※お申し込みの際は、お申し込みの住所、お名前、お電話番号、お申し込みの人数をお知らせください。

子育て相談 10/3月

地域への子育て支援事業として、育児に関する心配や不安を相談できる個別対応の「子育て相談」を予約制で行っています。担当は本学育児文化研究センター研究員です。相談日、申込はホームページをご覧ください。

相談内容	担当者	2022年度 基本相談日
発達相談	千草 篤磨	最終月曜日 14時(開催場所:報徳園)
子どもの健康	長倉 里加	第2月曜日 10時30分
就学前教育	青木 信子	最終木曜日 13時30分
小学校教育	権部 良子	最終火曜日 13時30分

子育て講座 9/2月

おやこひろば たかたんでは月1回「子育て講座」を開催しています。今年度後半も親子一緒に活動する講座と親子分離による講座を企画いたしました。詳しくはホームページをご覧ください。(※)親子分離の講座となります。

日時	テーマ	講師
8月18日(木)※	子どもの心の育ちを支える	山口 昌澄
9月15日(木)※	知って安心!「つまるとあぶないたべもののはなし」	長倉 里加
10月17日(月)	リズムにのって～親子であそぼう♪	堀内由香里
11月21日(月)	親子で楽しもう!ふれあい遊び	小菅千恵子
12月19日(月)	楽しく遊ぼうね!	前畑みち代
1月23日(月)	親子で一緒に新聞紙であそぼ	古川久美子
2月16日(木)※	子育てが楽しくなる絵本の力	岩附 啓子

みえこどもの城と高田短期大学 連携協定事業



2021年度「みんなあつまれ たかたんあそびひろば」を開催しました。コロナ禍の為参加人数を制限したり、感染の危険性を最小限にするためにみんなで歌ったり踊ったりすることはできませんでしたが、感染対策をしつつ4日間にわたり様々な発表をしました。劇、大型紙芝居、ゲーム、制作等多くの企画があり、たくさんのご家族に楽しんでいただきました。学生も子どもたちの笑顔に接し保育者への思いを一層強くもちました。



学びいっぱい

夢いっぱい

子ども学科活動紹介

ゼミ活動 森の授業

今年度は、学外と連携した取り組みとして「みえ森づくりサポートセンター」の「森のせんせい」事業を活用した授業を実施しています。大学周辺の自然体験活動に学外の専門家から得る学びを今後の保育者養成教育にも活かしていきたいと考えています。



学生の声

森の授業では、実際に自身の目で見て体験を通して学びました。森の中で目を閉じ、耳だけで森を感じるということを体験しました。鳥のさえずり、木の揺れる音、風の動きなど感じる事が出来ました。この体験を生かし子どもたちの感性や想像力を広げ育ちやすい環境を作れる保育に繋がっていきなりたいと思いました。

実習体験

授業で学んだ知識や技術を実際の現場で実践・確認する実習体験。コロナ禍の中でも三重県下の保育・教育施設250園を超える実習協力機関には受け入れていただき、学生たちは実際の現場で保育者として必要な様々な学びを経験しています。



学生の声

現場で学ぶことで、自分自身大きな成長に繋がりました。子ども達が、やる気を出せるような声かけを工夫し考えるようになりました。「すごい」「上手」だけではなく、できるようになったことを褒めると子ども達に響くということを学びました。実習で壁にぶつかった時には、すぐに担当の先生に相談し、ご指導いただき大きな気づきに繋がりました。

ひろばボランティア

「おやこひろば」でのボランティア活動では、利用者の親子に接し、子どもの発達や保護者の悩みなどにも触れる機会があり、実習体験では得られない就園前の親子の様子に様々な気づきを得ることができています。



学生の声

- ①初めて親御さんと話しをさせていただき、入園前の不安や心配事を知りました。ひろばでは子ども達との関わりだけでなく親御さんとの関わりを学ばせていただきました。
- ②園に入る前の小さい子どもと一緒に過ごす中で、子どもの育ちの違いや発達がわかりました。

たんたんクラブ

学生が、「おやこひろば」の手伝いをしながら、保育や子育て支援を学ぶクラブです。設立4年目、メンバーは、1年生4名、2年生5名。昨年度、コロナ禍の中、実現できた活動を紹介します。

3月10日、卒業間近の2年生が通常のおやこひろばの機会に、いろいろな遊びのコーナーを作り「おやこひろば たかたんで遊ぼう」を開催しました。魚釣り、ペットボトルボーリング、輪投げ、的あてなど、ひろばに参加していた幼児たちが何回も楽しそうに遊ぶ姿がありました。

コーナー遊びのあとは、学生による手遊びと絵本の読み聞かせ。親子で手遊びをまねたり、大型絵本に見入ったりしていました。

学生にとっては、実際の親子に接することができ、子育て支援を学ぶ機会となりました。

今年度は、昼休みや空き時間を利用して親子が楽しめる遊びを考えたり準備の機会を増やしたりして、学生の自発的な学びを積み重ねていけるよう活動を進めています。



新入会研究員の紹介



今年度から津市健康福祉部子育て推進課に勤務しており、研究員として参加させていただきました。

津市では、10か所の保健センターと5か所の子育て支援センターが連携、協働することで子育て世代包括支援センターの役割を担っています。各センターにおいて利用者に適切な関係機関や支援を紹介し、妊娠から子育て期にわたって切れ目のない支援を行い、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりに取り組んでいます。

令和5年度には「こども家庭庁」が創設され、妊産婦の方や子育て世帯、子ども達が気軽に相談できる施設がさらに重要になる中、津市の子育て支援が充実していくよう事業を進めてまいります。引き続き、センターの皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。(川原田 吉光)



今年度より高田短期大学子ども学科に着任し、育児文化研究センターの研究員として参加させていただきました。

これまで、児童発達支援や放課後等デイサービス等で勤務し、幼児から高校生までの子どもたちとかわってきました。子どもたちはもちろん、保護者や家族の方々とのかわりをおとして、さまざまなことを学び、一緒に考える機会をいただきました。

子どもたちや家族を取り巻く環境が日々変化する中、子どもたち一人ひとりが安心して楽しく成長できる場、その姿や成長を安心して見守ることができる環境を大切にしていきたいと思っています。微力ではありますが、努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。(中嶋 麻衣)



今年度6月から、育児文化研究センター研究員として参加させて頂くことになりました。所属はキャリア育成学

科オフィスワークコースで、キャリア関連の授業を担当しております。直接的に幼児教育や保育に携わっている訳ではありませんが、大人の働き方を通して、子どもたちを取り巻く環境や社会的ネットワークのあり方に興味を持っています。

企業などにおける育児支援策や両立支援策は充実してきているものの、ワークとライフのバランスを保ちつづけることは容易ではありません。再就職を含め、仕事と子育てを両立させていくための支援のあり方をテーマに、研究に取り組んでいます。これからどうぞよろしくお願い致します。

(日下 清佳)



今年度から高田短大のキャリア支援センターで勤務することとなり、育児

文化研究センター研究員として参加させていただくことになりました。私は、今まで公立幼稚園で担任、教頭、園長を経験し、多くの保護者と出会ってきました。保護者の悩みや思いに寄り添い、一緒に子育てを応援していきたいという思いで関わってきました。その中で、保護者の方は孤独感や不安感を持っている方が少なくないと感じていました。保護者の方々が楽しく子育てができるようお願い、研究員の皆様と共に学んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。(中村 昭子)



子育てママの「ホッと」ひろば事業

子育て中のお母さん同士が、日ごろ思っていることを何でも話せる集まりです。臨床心理士である講師のサポートを通して実施しています。

第1回	8月23日(火)	10:00~12:00	対象:未就園児保護者
第2回	9月30日(金)	10:00~12:00	対象:小学生保護者
第3回	12月3日(土)	10:00~12:00	対象:未就園児保護者
第4回	2月26日(日)	10:00~12:00	対象:未就園児保護者

第59回定例研究会

第59回定例研究会を令和3年7月6日(火)に開催しました。

松山智道研究員による「仏教保育の授業を担当して」をテーマにこれまでの授業資料に基づき授業内容の詳しい解説がありました。授業で扱う本や視聴覚教材の紹介が数多くあり、人が生きる上での奥深さや人生観を揺さぶる内容から、「いろいろな人の思いに出会って欲しい」という意図があるという報告でした。参加者からも「正しい宗教信念の“正しい”には深い意味があると考えのきっかけになった」など意見交換が行われました。

第61回定例研究会は7月5日(火)、第62回は10月27日(木)、第63回は令和5年2月6日(月)を予定しております。

第60回定例研究会

第60回定例研究会を令和3年10月28日(木)に開催しました。

武藤敦士研究員による「自然体験保育とビオトープ」をテーマに話題提供をしていただきました。

2021年度より大学周辺の里山を自然体験保育の実践と教育のフィールドとして整備してきたその過程や学生の学びについて、豊富な画像や研究データをもとに報告されました。参加者からは、「自然体験をする機会が減少している現代だからこそ、意図的に自然の中に出たり、触れたりする必要がある。養成校で、自然体験が大切と学んだ学生が保育現場で活躍することを期待したい」など活発な意見交換がなされました。

前期センター会議

5月11日(水)前期センター会議が開催されました。

前半は、令和3年度事業報告と令和4年度事業計画が各担当者から提案されました。

後半は、亀山市子ども未来課からの「亀山市の乳幼児教育と子育て支援について」話題提供がなされました。「子どもが遊ぶことはもちろんであるが、子育てに対して親の心が少しでも軽くなることを大切にしている」という話が印象に残りました。また、ZOOMによる子育て支援等コロナ禍ならではの工夫についても聞くことができ、充実した内容の会になりました。



後期センター会議は、12月2日(金)を予定しています。

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学 育児文化研究センター

〒514-0115
三重県津市一身田豊野195
TEL.(059)253-7020(センター直通)
(059)232-2310(代表)
FAX.(059)232-6317
Mail ikibun@takada-jc.ac.jp

